

# 越谷南ロータリークラブ会報

会長 岩淵秀一 幹事 染谷宗一 会長エレクト 小林光蔵  
RI会長テーマ 奉仕を通じて平和を  
クラブ会長テーマ 「奉仕を楽しむ為に60名会員の達成を」



平成24年9月20日 第1876回例会

## ロータリーソング斉唱

## ゲスト・ビジター紹介 米山記念奨学生

馬 俊涛 君

## 会長挨拶

越谷の歴史の続きをお話いたします。  
今日は、越ヶ谷 町の話です。  
関東に入国した家康は、鷹狩りのときしばしば会田出羽の屋敷に立ち寄っていましたが、この屋敷地がひどく気に入り、元荒川べりの地をゆずりうけて御殿を建てました。家康はこの越ヶ谷御殿をたいそう好み一年に三度も越ヶ谷を訪れたこともありました。  
また御殿地を提供した会田出羽は、家康の御用をよく努めたとして慶長十三年(1608)には畑一町歩の屋敷地をたまわっています。さらにこの家からは家康の近習衆にとりたてられた人や五〇〇石どりの旗本に登用された人が出ています。その後、この会田出羽の子孫が文政十年(1827)のとき袋町から越ヶ谷久伊豆神社に通じる道を寄進しましたが、それからこの道を、新しい道、すなわち新道と呼ぶようになりました。また耕地にもそれぞれ名前がつけられていますが、越ヶ谷のなかには、一番・二番・三番という番号がつけられた耕地があります。これは検地(江戸時代の土地の丈量調べ)のとき、始めに検査した順から一番・二番と付けられたといえます。また大作耕地という所がありますが、これは大きな耕地、柳田とはこの辺りを流れる堀にそって柳の木が植えられていたことから、また谷古方とは低い地のなかでもいくらか高い所で原野になっていたことから名付けられたようです。  
この原野を切り開いて人々が住みついた所を谷古宇と呼びますが草加市には谷古宇という名の、古くからの集落があります。このほか堀の名では、赤山街道(県道越谷鳩ヶ谷線)を鳩ヶ谷に向かってゆく途中に出羽堀という堀があります。この堀はその昔会田出羽が出羽地区の湿地を干拓するために堀り割った堀でしたので、出羽の名をとってつけられた名といわれています。  
なお観音横丁から元荒川に落とされる六本木落しの堀口を、六本木と呼んでいます。おそらくここに六本の太木があったことから名付けられた地名でしょう。  
その昔ここは大変寂しい場所(現在の柳町)の河原に

## 岩淵秀一会長



続いていた所です。江戸時代ここが所仕置場(その土地で処刑する場所)になっていました。元文四年(1739)という年に、他人の家に火付けしたため、越ヶ谷町の大火を招いた髪結い長衛門がここで、火あぶりの刑に処せられたそうです。昔は火付けの罰が大変重かったことがわかります。  
この他越ヶ谷には弥生町や柳町、宮前(通称)などの地名があります。これらは新しい町名です。  
以上、会長挨拶と致します。

## 幹事報告

染谷宗一 幹事

1. 地区青少年交換プログラム越谷南 RC 推薦の田中末菜美さん(越谷南高校)の正式合格のお知らせがきています。
2. 地区大会の案内が来ています。2012年11月17日(土)～18日(日)
3. お詫びと訂正の連絡が地区新世代委員会より案内が来ています。
4. 第3回IM実行委員会開催の案内が来ています。
5. メジャードナー顕彰午餐会の案内が来ています。
6. 「第38回越谷市民まつり」第4回財政委員会の案内が来ています。
7. 第57回市民体育祭中央大会の案内が来ています。
8. 宮古東RC会長(斉藤泰純様)より宮古近況報告のお手紙をいただきました。
9. 豊山太鼓「千響」の案内尚、詳細は染谷幹事まで。



## 委員会報告

- ◇ライラ研修について 大熊進委員  
地区ライラ委員よりの報告です。
- ◇ロータリー情報委員会より 石塚和男委員長  
10月4日フレッシュ会員の勉強会を行います。  
関森ガバナー補佐の参加されます。
- ◇社会奉仕委員会 中村幸江委員長  
あけぼの学園の観劇と運動会、お願いします。
- ◇復興支援チャリティーについて 仁多見会員  
9月21日豊山太鼓チャリティー公演協力をお願いします。



皆さん、こんにちは、私は馬俊涛と申します。中国からの留学生です。1985年生まれ、今年27歳、これは生まれてから100日の写真です、次は中学校・高校・大学・日本語学校・最後は今の写真です。中国の黒竜江省のハルビン市で生まれました。ハルビンと日本人に言ったら、「おっ、北のほうですね!」とか「寒いところですね」などを返事して頂くことが多かったです。実はハルビンがここにあります。確かに寒いですが、ところが冬の時期になると有名な観光地になります。特に欧米の外国人の方が旅行しに来ます。冬では有名なのはこれでしょう!氷祭りですね!写真を見てご覧ください。綺麗でしょう!!実はハルビンって、四季がはっきりしてありますよ。これが春・夏・秋・冬の写真です。私は一番好きなのが秋の前半です、なぜならというと、その時期に春の色、夏の風、秋の涼しさ、冬の静がさなどをすべて感じられますからです。

2009年中国の大学を卒業してから日本に参りました。2年間の日本語学校を通過して、今は獨協大学の経済研究科・経済経営情報専攻に所属しております。研究の方向は中国における企業HRMのベストプラクティスについての研究です。中国が1978年改革開放してから以来、外資企業を積極的な導入、政府が民営企業に対する支持、13億人の低コストの労働力が外国企業にとって、魅力的な存在である。これによって、経済成長率がどんどん伸びて来ました。世界経済危機による世界経済不景気に対する一早く経済回復した中国をますます注目されてきた、13億以上の消費者がいる中国は「世界の工場」から「世界の市場」に変換しました。

そのため、中国社会に古典な人事管理モデルから外資企業と競争できる管理方法に変更する必要がある。人的資源管理という学問は中国に導入するのが遅い、そんなに発達していないので、中国企業もそれぞれの独自の人的資源管理モデルを探ってきました。以前の研究者はそれぞれのHRMモデルで中国企業を研修しました。しかし、体系化していない中国HRMではベストプラクティスモデルが存在するかどうかを明らかにしたいと考えております。

実は私は常に目標を立ててから行動するんで、日本に来る前に自分と約束しました。留学費用がすべて自分の手で稼ぐ、一年の時間で日本語能力試験の最高レベルを合格させる、学校で最も優秀な学生になる、そして自分が好きな分野の先生の学生になる、この時点で一時帰国するという目標を立てました。二年をかけて、目標を全部達しました。大学院に入ってから、また二年間の目標を立てました。一年目、専門の基礎知識を充実して、研究テーマを決めて先行研究の資料を集める。二年目で、論文を集中して、完成するために企業調査を行って、アンケートとインタビュー実施する。この二年間の中に授業とバイトを両立させるという目標を決めましたが、でもここで問題が表れました。私は大学での専門は財務管理

でしたが、大学院での専門は財務管理の代わりに人的資源管理を選んだので、他人よりもっと勉強しなければならないです。ですから、一日は48時間になって欲しいですね!日本にきてからずっと時間と戦っていると感じています。なので、バイトの時間を減らして、勉強したいです。でも、こうしたら、生活費と学費を困ります。でも、この時に「生活が厳しくなるが、我慢するしかないでしょう。日本に留学なんて自分が選んだ道じゃないか」といつも自分と言っています。

この悩んで困るときに、恩人が現れてきました。それは日本ロータリークラブです、ここにいるロータリーアンの皆様です。私は2012年の米山奨学生になって、ロータリーアンの皆様からの援助を頂くことを出来ました。今は越谷南ロータリークラブに配分されて、お世話になっております。カウンセラーは石塚さんです。

中国に「雪中送炭」という諺があります、意味は人が最も困っているときに援助の手を差し伸べる。日本語で「渡りに船」っていう宜しいでしょうか!だから、今、私は感謝の気持ちがいっぱいで、言葉だけで、ただの「どうも、ありがとうございます」で表すこと出来ません。この奨学金が私にとってどれだけ重要なのか、頂くことによる自分の生活がどれだけ変わってきたかをロータリーアンの皆様に教えたなら、私の感謝の気持ちをすこし理解していただけたらと思います。

奨学金を頂く前後の生活を比較しながら紹介します。こちらは日本語学校一年目の時の時間割です。まずは睡眠時間から見てください、朝5時から10、11時まで、.....

このような生活が二年を過ごしました。私は成長しましたが、学校での成績が常にNO.1ですし、学校や地区のスピーチ大会に参加して賞を貰うし、一年間で日本語試験一級と日本免許を合格し、100%の出席率で卒業して希望の大学院に入りました。しかし、体がもうこの以上耐えられないみたい、疲労でバイクを運転する時によく瞬間に頭が真っ白になって、目が覚めたら、前の車とこの距離しかなかったです。ある時信号待ち、前後に車があって居眠りで転んでしまって、自分がバカみたい、恥ずかしくて早く起きて、ちょうど青信号になった、慌てて逃げました。また、ストレスが溜まって、頭皮湿疹が出てきて、痒くてたまらない。ですから、大学院1年目の時少しバイト時間を減らして、勉強のためにも、体のためにも。この時ロータリーの援助の手に助けて頂きました。嬉しくて、ありがたい気持ちが心より申し上げます。

奨学金を頂くことより、生活状況が変わってきました。

実は金銭面だけの支援ではなく、世話クラブ・カウンセラーから精神的な支援も頂いています。世話クラブの例会に参加したうえで、自分の生きがいもちょっとずつ変わってきている。人生は自分だけのためではない、皆のためになったら、自分も必ず幸せを感じます。最近、二回老人ホームに行きました、感じたのは幸せです。私たちの一生懸命にやったパフォーマンスで喜んでくれました、その笑顔を一生忘れられないです。これが奉仕活動四つのテストの本当の意味じゃないかなあと思います。

将来の夢より目標のほうが実在的に感じます。来年3月卒業、日本で就職して、一年後生活も仕事も安定したうえで結婚、2~3年昇進、子供がほしいですね、5年かかって部門のリーダーとして、中国市場に出たい。もし、うまくできなければ、中国に戻って自分の会社をやりたいです。

これが私の5年計画です、考え方が甘いかもしれませんが、でも、本当にやってみたいことなので、アドバイスを頂ければ幸いです。

今日は自分の本当の気持ちを伝えるチャンスを頂いて、本当にありがとうございます。ロータリーの皆様を心より感謝いたします。以上、ご清聴ありがとうございました。

### スマイル報告

ロータリーコーディネーターに参加してきました。藤田  
明日ミニ太鼓公演行います。募金しに来てください。仁多見  
遅くなりましたが、南越谷阿波踊りに多くの共催をありがとうございました。中内  
彼岸だというのに真夏の暑さです。地球が熱射病になってしまったようです。神谷  
地区新世代チャリティーバザー出品よろしく。大熊  
次年度のガバナー補佐が東クラブの小暮さんに決まりました。深井  
残暑厳しい中、体調崩す方が増えています。皆様もお体にはお気をつけて下さい。佐藤(陽)  
本日早退します。久木野  
まだまだ暑くてうれしいです。遠山  
卓話ありがとうございました。浜野(高)、飯泉、本田、水町、糸賀、石塚、仁多見、木佐、中尾、中内、野呂田、岡田、加藤、池田、石野、中村、浅水、中島、小林(光)、石田、染谷、岩淵、赤松、田中

### 出席報告

例会日	平成24年9月20日		
会員数	52名	出席	39名
出席免除者	12名	欠席	13名
出席率	82.50%	前々回MU	1名
MU修正率	92.50%	会報担当：田中	

#### ————— クラブプロフィール —————

☆姉妹クラブ 国際ロータリー第3460地区  
台中南区扶輪社(中華民国台中市)  
☆例会日 毎週木曜日(PM0:30~1:30)  
☆例会場・事務局 〒343-0842  
越谷市蒲生旭町10-14 中野ビル2階  
TEL 048-987-5761  
FAX 048-987-5762  
E-mail info@koshigaya-south-rc.jp